

第5回簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時：平成23年9月30日（金） 17:30～17:45

場所：神戸学院大学薬学部ポートアイランドキャンパス
（B号館202号室）

第5回簡易懸濁法研究会総会 式次第

【総会式次第】

神戸学院大学薬学部ポートアイランドキャンパス(B号館202号室) 17:30～17:45

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 開会の辞(司会) | 近藤総務担当幹事 |
| 2. 代 表 挨 拶 | 倉田代表幹事 |
| 3. 議 事 | |
| ア. 議 長 | 倉田代表幹事 |
| イ. 報 告 事 項 | |
| 事業報告 | 新井総務担当幹事 |
| 会計報告 | 安藤財務担当幹事 |
| 会計監査報告 | 座間味会計監事 |
| 会則変更 | 倉田代表幹事 |
| 役員改選について | 世良事務局長 |
| ウ. 議 案 | |
| 平成23年度事業計画案 | 倉田代表幹事 |
| 平成23年度事業予算案 | 安藤財務担当幹事 |
| 4. 閉会の辞 | 岡野副代表幹事 |

簡易懸濁法研究会 平成22年度事業 報告

- 平成22年4月 新幹事3名承認
 フローラ薬局 篠原久仁子先生
 岸和田徳洲会病院薬剤部 藤原 琴先生
 有隣病院薬剤科 近藤幸男先生
- 平成22年4月 Pharmaceutical Care Forum Mie -第112回例会の御案内-:アスト津 アストプラザ研修室A(アスト津4F)(三重県津市)
 「扉を開けるのは力ではなく、鍵だ!!」
 -簡易懸濁法からはじまったファーマシューティカルケア-
 大洗海岸病院薬剤部 薬剤部長 新井 克明 先生
- 平成22年5月 第92回大阪医薬品適正使用研究会:和泉シティプラザ3階 レセプションホール(大阪府和泉市)
 「簡易懸濁法における留意点と薬剤師の役割」
 ~脳梗塞患者や認知機能障害患者の嚥下障害~
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年7月 簡易懸濁可否情報共有システムの運用開始(研究会HPにて)
- 平成22年8月 平成21年度会計・事業報告の発送
- 平成22年9月 平塚中郡薬剤師会 介護福祉部講演会:平塚市保健センター 2F 講堂(神奈川県平塚市)
 「簡易懸濁法について」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年9月 第一回地区薬剤師研修会:武蔵野スイングホール レインボーサロンB(11F)(東京都武蔵野市)
 「薬剤師のソコヂカラ-簡易懸濁法に学んだ患者中心の医療-」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年10月 簡易懸濁法研究会事務局(樽木秀一様方)閉鎖
 簡易懸濁法研究会臨時事務局開局((株)システムヨシイ 世良幹事)
- 平成22年10月 第13回鹿児島PEG研究会:鹿児島県市町村自治会館4F 大ホール(鹿児島市)
 「危険な錠剤粉砕をやめて、より安全な簡易懸濁法へ」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年10月 アボットジャパン ラインカンファレンス:当カンファレンスはアボットジャパン(株)医薬情報担当者(MR)が電話回線を使用して全国の担当施設内で実施
 「栄養剤・医薬品の経管投与における薬剤師のソコヂカラ」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年10月 第1回 高齢者薬物治療を考える会:長崎新聞文化ホールアストピア(長崎市)
 「薬剤師のソコヂカラ-簡易懸濁法に学んだ患者中心の医療-」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年10月 <患者ニーズに合った>医薬品と剤形開発:タワーホール船堀3階301会議室(東京都江戸川区)
 「服薬支援現場の実際と簡易懸濁法・速崩壊錠」
 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
- 平成22年11月 第4回簡易懸濁法研究会講演会・総会:千葉県薬剤師会会議室(ホテルニューツカモト3F 千葉市)
 会員企業報告:「添加剤からわかる製剤の特徴」
 第一三共製薬株式会社 LCM推進部 今野 勉様
 会員報告:「がん患者の服薬支援と簡易懸濁法」
 静岡県立静岡がんセンター病院薬剤部 増田佳織先生

特別講演：「高齢者医療施設の現場から」

総泉病院名誉院長 ウェルエイジングセンター長 高野喜久雄先生

平成22年11月 第36回 栄養サポート研究会
(茨城キリスト教大学 8号館大講義室 茨城県日立市)
「簡易懸濁法の実際」

大洗海岸病院薬剤部 薬剤部長 新井克明先生

平成23年1月 1月度水戸薬剤師会学術研修会
(茨城県薬剤師会 会議室 茨城県水戸市)
「簡易懸濁法の実際」

大洗海岸病院薬剤部 薬剤部長 新井克明先生

平成23年2月 島根県脳卒中学術講演会
(出雲ロイヤルホテル 島根県出雲市)
「脳梗塞患者や認知機能障害患者への経管投薬法
～錠剤を潰さない簡易懸濁法～」

昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生

平成23年3月 4月1日より毎日学術フォーラムへ事務局移行
場所: 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル9階

簡易懸濁法研究会 平成23年度事業経過 報告

平成23年4月	毎日学術フォーラムへ事務局移行 場所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル9階
平成23年4月	鳥取県東部薬剤師会講演会 とりぎん文化会館 第4会議室(鳥取県鳥取市) 「薬剤師のソコヂカラ～患者にやさしい服薬支援～」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成22年5月	簡易懸濁法研究会 平成22年度決算報告書、事業報告書等を会員へ送付
平成23年5月	徳島文理大学薬学部 卒後教育講座 徳島文理大学薬学部 13号館4階大講義室(徳島県徳島市) 「服薬支援で発揮する“薬剤師のソコヂカラ”」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年6月	那覇地区薬剤師会 特別講演会 沖縄県薬剤師会館 3階ホール(沖縄県島尻郡) 「薬剤師のソコヂカラ～服薬指導から服薬支援(簡易懸濁法など)へ～」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年6月	第五回 東葛南部在宅がん緩和研究会 オリエンタルホテル東京ベイ(千葉県浦安市) 「安全確実な経管投薬法ー危険な粉碎をやめて、簡易懸濁法へ」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年7月	第8回 大分健生病院公開講座『経腸栄養』 全労済ソレイユ 7階カトレア(大分県大分市) 「開発者が優しく語る！薬剤簡易懸濁法の最前線と今後」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年7月	簡易懸濁法研修会(詳細) 「簡易懸濁法Ⅰ」 長崎国際大学 薬学部講義棟3階 T6301実習室(長崎県佐世保市) 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生 「簡易懸濁法Ⅱ」 長崎大学 薬学部 模擬薬局(長崎県長崎市) 鳴門山上病院 薬剤科 診療協力部長 賀勢 泰子 先生
平成23年7月	九州 PEGサミット in 阿蘇 天然温泉宿泊保養施設(日赤研修センター)「アソシエート」(熊本県阿蘇郡) 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年8月	簡易懸濁法ホームページ ・簡易懸濁法の説明用資料と実習書を掲載 ・患者向け説明用資料を追加
平成23年8月	平成23年度 第3回生涯教育研修会 JA・AZMホール 2階 大研修室(宮城県宮崎市) 「薬剤師のソコヂカラー服薬指導から服薬支援へ(簡易懸濁法など)ー」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年8月	平成23年度 第1回 医療安全研修会 富士吉田市立病院二階 あかげら(山梨県富士吉田市) 「薬をちゃんと飲んでもらうためにーあの手この手の倉田式メソッドー」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生
平成23年9月	東北PEG研究会 山形セミナー 山形ビッグウイング4F 中会議室(山形県山形市) 「安心の経管投与のためにー簡易懸濁法の全てー」 昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生

平成23年9月 学術講演会
南島原市口之津図書館ホール(長崎県南島原市)
「患者さんにやさしい服薬支援～簡易懸濁法導入について～」
昭和大学薬学部薬剤学教室 准教授 倉田 なおみ 先生

平成23年9月 第5回簡易懸濁法研究会 総会・講演会開催
神戸学院大学薬学部B号館(ポートアイランドキャンパス)
「軟カプセル剤の簡易懸濁法」 東洋カプセル株式会社 吉野 愛 先生
「大震災で薬剤師ができること」 大洗海岸病院 薬剤部 新井 克明 先生
「簡易懸濁法に最適の剤形は？」 昭和大学薬学部 倉田なおみ 先生

平成22年度簡易懸濁法研究会会計報告

(収入の部)

(単位:円)

科目	金額	摘要	
会費	2,561,000	正会員(今年度会費280名分+昨年度会費9名分)	1,445,000
		学生会員(8名)	16,000
		賛助会員(11社22口)	1,100,000
事業収入	36,500	第4回簡易懸濁法研究会講演会参加費	36,500
前期繰越金	1,456,120		
合計	4,053,620		

(収出の部)

(単位:円)

科目	金額	摘要	
事業費	984,690	講演会費	160,440
		簡易懸濁可否情報共有システム開発費(全二期分中、第一期分)	635,250
		簡易懸濁可否情報共有システム保守費(7月より9ヶ月分)	189,000
管理費	554,204	幹事会・総会費	160,000
		事務消耗品費	28,880
		通信費	70,509
		人件費(事務局)	227,260
		租税公課(源泉税)	9,999
		出張費	30,000
		慶弔費	10,000
		雑費(手数料含む)	17,556
繰越金	2,514,726		
合計	4,053,620		

平成23年3月31日

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

平成23年 5月15日

簡易懸濁法研究会

会計幹事 座間味 義人



簡易懸濁法研究会 会則

(総則・名称)

第1条 本会は簡易懸濁法研究会と称する。

英名は、The Japanese Association for Simple Suspension Method とする。

(目的)

第2条 本会は簡易懸濁法を中心に、広く摂食・嚥下障害患者における薬の安全で効果的な投与に関する研究及び普及を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、研究機関（大学・企業など）との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による簡易懸濁法実施施設の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、本会発展のために必要な事業

(構成・会員)

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った一般会員、学生会員、賛助会員をもって構成する。

2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、研究会事務局に届け出ものとする。以上の手続きを行い、役員の承認を得た上で会費を納入した者を会員とする。

3. 会員の特典

- (1) 会員発表による研究会や、実技セミナーなどへの参加
- (2) 実施施設への見学幹旋
- (3) 疑問点・問題点の問い合わせ
- (4) メーリングリストを利用したの会員同士の意見交換
- (5) 機関誌その他刊行物の発行 など

(役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名

副代表幹事 2名

幹事 若干名

会計監事 1名

事務局長 1名

第6条 役員の職務

代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。なお、会の効率よい運営のため、学術事業担当、渉外広報担当、財務担当、総務担当の幹事若干名を置くこととする。
3. 会計監事は本会の会計を監査する。

第7条 役員の選出および任期

代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は1年とするが再任は妨げない。

幹事は幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は1年とするが再任は妨げない。

第8条 幹事会

幹事会は必要に応じて開催するが、メーリングリストを用いてのインターネット会議も可能とする。

(会計・会費)

第9条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、会計監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年4月1日から3月31日までとする。

(事務局)

第10条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第11条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は 2/3 以上の幹事の出席（委任状を含む）をもって成立し、出席者（委任状を含む）の過半数で議決される。

付則

本会則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

一部改訂 平成 19 年 9 月 16 日

一部改訂 平成 23 年 4 月 1 日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第 11 条により幹事会が行う。

第3条 会則第 9 条に定める年会費は次の通りとする。

1. 年会費は一般会員 5,000 円、学生会員 2,000 円、賛助会員一口 50,000 円とする。
2. 年会費を継続して 2 年間滞納した会員は、自動的に退会とする。

第4条 研究会事務局の所在地等

毎日学術フォーラム

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9 階

E-mail : kendaku-office@umin.ac.jp

平成23年度 簡易懸濁法研究会 役員

役員

- | | | |
|------------|--------------------------------------|--------------------------|
| ① 代表幹事 | 昭和大学薬学部 | 倉田 なおみ |
| ② 副代表幹事 | 徳島文理大学薬学部
北陸大学薬学部 | 岡野 善郎
宮本 悦子 |
| ③ 財務担当幹事 | 吉備高原ルミエール病院薬剤科
岸和田徳洲会病院薬剤部 | 安藤 哲信
藤原 琴 |
| ④ 総務担当幹事 | 有隣病院薬剤科
徳島文理大学薬学部
大洗海岸病院薬剤部 | 近藤 幸男
石田 志朗
新井 克明 |
| ⑤ 渉外広報担当幹事 | フローラ薬局
三条東病院薬局
知命堂病院薬剤科 | 篠原 久仁子
岡村 正夫
武藤 浩司 |
| ⑥ 学術事業担当幹事 | 益田赤十字病院薬剤部
鳴門山上病院薬剤科
姫路獨協大学薬学部 | 西園 憲郎
賀勢 泰子
天野 学 |
| ⑦ 会計監事 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 座間味 義人 |
| ⑧ 事務局長 | 株式会社システムヨシイ | 世良 庄司 |

事務局

毎日学術フォーラム

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル9階

第 5 回 簡易懸濁法研究会 総会 議 案

1. 平成23年度事業計画案
2. 平成23年度事業予算案
3. その他

簡易懸濁法研究会 平成23年度事業計画

1. 第5回簡易懸濁法研究会 総会・講演会開催

日時:平成23年9月30日(金) 17:30～20:20

場所:神戸学院大学薬学部B号館201号室(ポートアイランドキャンパス)

2. 第21回 日本医療薬学会年会 公開シンポジウム 11 の支援

「服薬支援に貢献する簡易懸濁法—最近の知見—」

日時:平成23年10月1日(土) 9:30～11:30

場所:神戸商工会議所会館 3F 第11会場

3. 簡易懸濁法ハンドブック改訂版発行の援助

4. 簡易懸濁法に関する学会情報の収集(会員会報の作成)

5. 講演活動(簡易懸濁法研究会共催講演会の実施)

6. 実技指導・研修会用プレゼンテーションスライドの作成

7. 保険薬局との連携強化(日本薬剤師会総会での発表)

8. 簡易懸濁液通過試験のための経管チューブの分割販売

9. 会員メーリングリストの充実

10. メーリングリストでの未掲載薬品データの公開

11. ホームページの充実

簡易懸濁可否情報共有システムへの情報追加

学会発表資料の掲載

簡易懸濁法の正しい手技の説明資料掲載

患者向け説明資料の掲載

12. 新知見の学会発表

13. 研究結果(学会発表)の論文への投稿

14. 簡易懸濁法に関するデータの添付文書掲載実現への活動

15. 他団体との共同事業

16. 東日本大震災、被災地および医療ボランティアへの支援

平成23年度 簡易懸濁法研究会 収支予算(案)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		平成22年度 予 算 額	平成23年度 予 算 額 (案)	差 異	摘 要
大科目	小科目				
会費収入		1,920,000	3,020,000	1,100,000	
	正 会 員会費	1,250,000	2,000,000	750,000	5,000×400名
	学生会員会費	20,000	20,000	0	2,000×10名
	賛助会員会費	650,000	1,000,000	350,000	50,000×20口
事業収入	講演会参加費	37,500	37,500	0	500×75名(非会員)
当期収入合計(A)		1,957,500	3,057,500	1,100,000	
前期繰越収支差額		1,456,120	2,514,726	1,058,606	
収入合計(B)		3,413,620	5,572,226	2,158,606	

【支出の部】

(単位:円)

勘定科目		平成22年度 予 算 額	平成23年度 予 算 額 (案)	差 異	摘 要
大科目	小科目				
事業費支出		1,224,250	1,087,250	-137,000	
	講演会費	200,000	200,000	0	謝金,旅費、会場費等
	簡易懸濁可否情報 共有システム開発費	635,250	635,250	0	第2期分
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	189,000	252,000	63,000	月額21,000(12ヶ月分)
	ホームページ改修費	200,000	0	-200,000	
管理費支出		760,000	1,650,750	890,750	
	幹事会・総会費	370,000	360,000	-10,000	幹事会(2回)
	事務消耗品費	30,000	25,000	-5,000	文具・コピー代等
	通信費	80,000	180,000	100,000	発送手数料等
	人件費	240,000	960,750	720,750	事務代行業者依頼費
	租税公課	15,000	10,000	-5,000	源泉徴収税
	出張費	0	90,000	90,000	学会(3回)
	雑費	25,000	25,000	0	振込手数料等
予備費支出					
	予備費	500,000	300,000	-200,000	
当期支出合計(C)		2,484,250	3,038,000	553,750	
当期収支差額(A)-(C)		▲ 526,750	19,500	546,250	
次期繰越収支差額(B)-(C)		929,370	2,534,226	1,604,856	

第5回簡易懸濁法講演会のご案内

謹啓

初秋の候、先生方におかれましては益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、下記の要領にて「簡易懸濁法研究会」学術講演会を開催させて頂くことになりました。
ご多忙中とは存じますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日 時 : 平成23年 9月30日(金) 午後6時00分より

場 所 : 神戸学院大学薬学部ポートアイランドキャンパスB号館201号室

〒650-8586神戸市中央区港島1-1-3 TEL 078-974-1551

<http://www.kobegakuin.ac.jp/campus/portisland.html>

プログラム

■会員企業報告 18:00~18:30

座長 北陸大学薬学部 宮本悦子

「軟カプセル剤の簡易懸濁法」

東洋カプセル株式会社 吉野 愛先生

■会員報告 18:30~19:10

座長 フローラ薬局 篠原久仁子

「大震災で薬剤師ができること」

大洗海岸病院 薬剤部 新井 克明先生

■特別講演 19:20~20:20

座長 徳島文理大学薬学部 石田志朗

『簡易懸濁法に最適の剤形は?』

昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

主催:簡易懸濁法研究会 後援:兵庫県薬剤師会 兵庫県病院薬剤師会

※本講演会は、日本研修センター生涯教育制度に認められており、研修シール1単位が交付されます。

※参加費:研究会の会員は無料です。非会員は500円の運営費を当日徴収させていただきます。